

見たい時に見たいものが楽しめる!

白熱する

「テレビで見る」

ブロードバンド

放送

「ブロードバンド放送」と聞いて多くの人が思い浮かべるのは、パソコンの画面でテレビ放送やビデオを視聴することだろう。それは決して間違いではない。しかし今や時代は「テレビ」。2003年3月開始のBBTV、2003年12月開始のKDDI光プラスTVに加え、この7月にはNTT Comの「CoDen光サービス」や大手プロバイダー5社が参画する「4th MEDIAプロジェクト」が本格始動した。ブロードバンドテレビサービスは、これで一気に身近になった感がある。中でも注目したいのは、自分の好きな時に好きなコンテンツを楽しむVOD(ビデオ・オン・デマンド)。リビングがレンタルビデオ店や映画館になる誘惑に、あなたは果たして勝てるだろうか!?

Text: 仲田玲子



オリンピックだけじゃない

## 2004年はブロードバンドテレビの年

### 本格的なブロードバンドテレビサービスが始まった

リビングでリモコンを手に取り、テレビのスイッチを入れる。画面に表示されたのは新着ビデオの案内。いつもはそのままオススメを選ぶことの多いあなただが、今日は少し昔の作品を楽しみたくなった。“レビュー”で内容を何本か確認し、最後に気に入った1本を選んだ。視聴手続きを済ませるとすぐに放映が始まり、ソファに寝転びながらのんびりと楽しむ……

VODサービスで実現するのはこんな生活だ。わざわざレンタルビデオ店まで出向かなくても、リビングで好きな時に好きなビデオを選べる。貸し出し中で見られないこともないし、返却し忘れて延滞金を払うよ

うなことも起きない。ビデオの一時停止や早送り、巻き戻しも可能だ。少し前まで「できたらいいな」だったVODサービスが、身近なサービスとなりはじめた。

これまでブロードバンドテレビサービスでVODサービスを提供していたのは、BBTV(BBケーブルとKDDI光プラスTV(KDDI))のわずか2社。しかし7月8日、オンラインティーヴィとぶらネットワークスが提供する「4th MEDIAサービス」が多チャンネル放送とVODサービスの本格提供を開始し、そこにインターネットユーザーの過半数を占める大手プロバイダー5社が参加の名乗りを上げたことで、身近に利用できるサービスとなってきた。また、NTTコミュニケーションズも7月1日から集合住宅向けに「NTT Com CoDen 光サービス」を開始

し、その中にVODサービスを用意している。2004年はブロードバンドテレビサービス元年、いやVODサービスの元年と呼べるかもしれない。

インターネット放送そのものは新聞社やテレビ局を中心に1995年頃からニュースを主体として開始され、有料のインターネット映画館やネットドラマなどの提供も行われた。しかし、これらはすべてパソコンでの配信サービス。まだダイヤルアップが主な接続サービスだったこの時代では、コンテンツの内容や配信の仕方にもおのずと限界があった。総務省によると、2002年1月末時点では約180万世帯だったADSLやFTTHのインターネット接続サービス利用者は、2004年5月末で約1315万世帯にまで増加している。家庭のブロードバン

ド加入者数の増加は、安定的な映像の配信を可能にする1つの要因となっている。

## 著作権保護が壁になる VODのサービス

現在、パソコン向けのブロードバンド放送を提供しているプロバイダーは多い。たいてい「ブロードバンド」や「動画配信」という名前で、映画やドラマ、アニメ、音楽などのコンテンツが提供されている。内容はさまざまだが、基本的にコンテンツを提供するコンテンツホルダーサイトへのポータルサイトとして存在しているため、各社ともサービス内容はあまり変わらない。また、レンタルビデオ店代わりとなるVODサービスを提供しているプロバイダーも少ない(表1)。

これには、コンテンツホルダー側から見た映像配信における著作権保護の問題が大きく影響しているようだ。1つは、デジタル著作権管理(DRM: Digital Rights Management)の標準化が整っていないため不正コピーが完全に防げないという恐れ、もう1つは、インターネットでの配信は世界中どこからでもアクセスできるオープンな環境のため、配信地域の制限がかけられないということである。

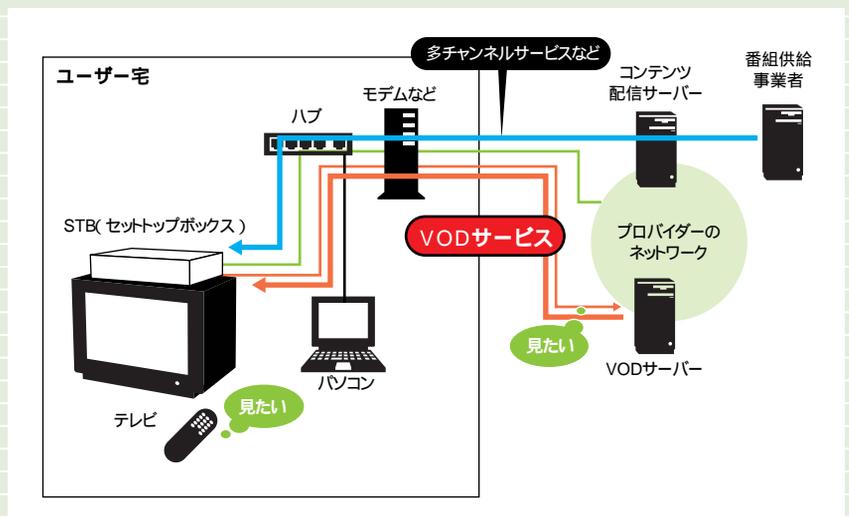
この点、ISPによるテレビ向けの映像配信サービスは、パソコンへの配信と同様のインターネット(IP)サービスではあるが、地域的に限定されたサービスのため、コンテンツホルダーはケーブルテレビにおけるペーパービューの発展形として位置づけている。また、STB(セットトップボックス)を通すことで、たとえば配信時にスクランブル(暗号)をかけるなどして著作権保護がかけやすいということもある。これらいくつかの条件を付けることで、コンテンツホルダーとしてはコンテンツを提供しやすくなったという背景があるようだ(図1)。

さらに、画面の大きなテレビは、パーソナル性の高いパソコンよりも、家族や仲間といっしょにワイワイと楽しむのに向いている。慣れ親しんだリビングでVODサービスを利用するのは簡単なのだ。

表1 パソコンで楽しめる主なブロードバンド放送サイト

サイト名/URL	備考
BB@nifty http://bb.nifty.com/contents.htm	ストリーミング映像やダウンロードコンテンツなど、ブロードバンドコンテンツを、ジャンル別に紹介するポータルサイト
BB DION http://ampersand.dion.ne.jp/movie	KDDIが提供する、エンターテインメント、映画、ゲーム、インターネットTVなどのブロードバンドコンテンツのポータルサイト。無料のものと同料のものがある
BeMyWay(ビーマイウェイ) http://www.bemyway.net/	イー・アクセスが運営するブロードバンドポータルサイト
BROAD-GATE 01 http://www.gate01.com/	有線ブロードネットワークス(USEN)が提供する「BROAD-GATE 01」会員向けサービス。クラシック名画やシネマ選報、ドラマ、ドキュメンタリー、カラオケなど
Broadband@Plala.TV I http://plala.tv/pc.html	フレッツADSL・Bフレッツのフレッツプランを契約しているがらブロードバンド会員向けのVODコンテンツ。映像の視聴には再生プレーヤーとして「PlalaPlayer(Windows限定)のインストールが必要
BROBA(ブローバ) http://www.broba.goo.ne.jp/	NTTブロードバンドイニシアティブ(NTT-BB)が提供するブロードバンドポータルサイト。映画本編、ドラマ、アニメなどの毎月約30タイトルが、月額315円(税込)1.5Mbpsまでのスタンダード品質で見放題。NTT東日本・NTT西日本のフレッツ・ADSL、Bフレッツの利用者限定で、月額1050円(税込)でスタンダードプラン+最大3Mbpsの高品質コンテンツ見放題のプランあり
COMIN'SOON TV http://www.cs-tv.net/	最新映画の予告編および現在ロードショー中の作品の予告編をブロードバンドで無料視聴できる。提供はカミングスーン・ティービー
OCNブロードバンドメディア http://broadband.ocn.ne.jp/	NTTコミュニケーションズのブロードバンドサイト。映画やアニメ情報、インターネットゲームなど、無料コンテンツ、有料コンテンツ、その他のコンテンツがある
Powerbroad(パワーブロード) http://www.powerbroad.ne.jp/	パワーコム提供のストリーミング動画配信コンテンツのポータルサイト
HOLLYWOODPARTY 幻の洋画劇場 http://www.hollywoodparty.net/	モーションプロのVODサイト。名作ドラマ、コメディ、ミュージカル、SF映画、など計約550作品を315円(税込)で1週間視聴可能なストリーム またはダウンロードで提供。無期限再生版もあり
impress TV http://impress.tv/	インプレスの「インターネット放送局」サイト。IT情報、金融、音楽、ノウハウ情報、エンターテインメントまで、さまざまなコンテンツを24時間ON DEMANDで映像配信
RealGuide http://japan.real.com/guide/	リアルネットワークスのブロードバンド情報サイト。オーディオ & ビデオ検索も可能。
ShowTime http://www.showtime.jp/	ショウタイム提供のストリーミング映像を中心としたブロードバンド・エンターテインメントの会員制コンテンツポータルサイト。映画、音楽、アイドル、アニメなどコンテンツ数は1万タイトル。月会費294円(税込)で会員向け4000タイトル以上が見放題
Toshiba Web Street http://www.toshiba.co.jp/webstreet/flash/index.html	東芝が運営するブロードバンドサイト
Yahoo! 動画 http://streaming.yahoo.co.jp/	Yahoo! BB会員向けサービス。会員以外の方も無料で視聴できる番組もあり
クリコムシアター http://www.f-dt.co.jp/clicom/theater/	映画・ドラマ・演劇などを配信する有料制ブロードバンドサービス。月額525円(税込)で見放題
ポケモンオンフレッツ http://www.pokemon-on-flets.jp/	NTT東日本およびNTT西日本が運営する「ポケットモンスター」の最新情報配信専用サイト。7月1日オープン。フレッツ・ADSL、Bフレッツなどに加入するフレッツユーザー向けのサイト。過去の映画タイトルをオンデマンド視聴することが可能。315円(税込)から

図1 ブロードバンド放送の仕組み





いよいよ出揃ってきた!

## 4大サービスの内容を一挙公開

### ハリウッドメジャーに強いBBTV

2003年3月に業界の先陣を切ってサービスを開始したBBTV(当時はBBケーブルTV。2004年6月1日にサービス名称変更)は、Yahoo! BB会員を対象としたブロードバンドテレビサービスだ。

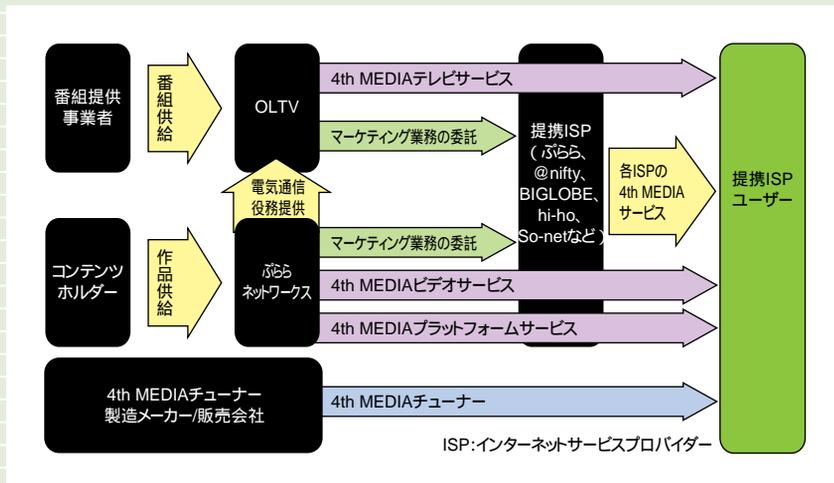
7月10日現在で2750タイトル、8月1日には約3200タイトルを予定しているBBTVのVODサービスの特徴は、ハリウッドメ

ジャースタジオに強いことだ。ハリウッドメジャー8社のうち5社とライセンス契約を締結しており、話題作がほとんどカバーされている。この7月にもワーナー・ブラザーズ テレビジョンとライセンス契約が締結され、「マトリックス レボリューションズ」などが配信開始。「ラスト サムライ」なども今後ラインナップに加わってくるので、洋画ファンにはうれしいタイトルが目白押しだろう。もちろん、邦画やアニメも充実し

ている。

BBTVのVODサービスの中でユニークなのは、録画可能なコンテンツもあることを挙げておきたい。ブロードバンドテレビサービスで提供されるVODコンテンツのほとんどは、著作権の問題で録画できないように設定されているが、BBTVのビデオリストにはコンテンツの録画の可否が明記されている。さすがにデジタル録画はできないし、ハリウッドメジャーの作品は録画不可のものが多いが、テレビ番組を見るのと同じ感覚でビデオを録画してコレクションできるのは魅力だ。

図2 「4th MEDIA プロジェクト」のビジネススキーム



### パソコンとケータイに連携 KDDI光プラスTV

KDDI光プラスTVは、2003年12月にKDDIの光ファイバーサービスの1つとして開始された。全国規模でサービスを展開しているが、2004年7月現在の提供エリアは14県。現在では、マンションが主な対象だが、来年度には一戸建の住宅にも提供を予定しているため今後の展開が期待できそうだ。

各社インターネットサービスはこんな感じ——「メニユ」

#### BBTV



#### KDDI光プラスTV



提供サービスは、30局の多チャンネル放送とVODサービス、カラオケサービスだ。KDDI光プラスTV単品での申し込みはできず、「KDDI光プラス電話とのセット」が「KDDI光プラスネットとのセット」、もしくは「KDDI光プラスネット、電話、TVの3点セット」のいずれかを選択する。VODコンテンツは、2004年7月10日現在で約2000タイトル。映画のほか、特にアニメや昔の特撮ドラマが充実している。

基本的にストリーミングでの配信だが、話題作ビデオの一部は、アクセス集中による回線品質の低下を避けるため、配信開始時間を定めた「スケジュールビデオ」も用意されている。配信時間を4パターン設定し、30分ずつずらして配信するなど、映像品質の管理には気を使っている。人気があるのは全話パックで、キャンペーンの対象になると1,050円(税込)で30泊31日楽しめる。7月は「新造人間キャシャーン」や「みなしごハッチ」「キャプテン」「ガラスの仮面」などの懐かしいアニメが対象となった。

また、KDDI光プラスTVの特徴は、パソコンやauの携帯電話からでも操作と購入ができることだ。リモコンよりもパソコンでの操作が楽であれば、コンテンツのプレビューや購入をパソコンで行い、本視聴だけテレビで行うこともできる。また

## ! VODサービスを体験! はまってしまう!

「KDDI光プラスTV」のサービスを使ってみた。STBの設置はあっけないほど簡単に終了。KDDIのホームゲートウェイには「STB」と名前が振られた専用ジャックがあるので、間違いようもなかった。さっそく試してみる。「きれい!」というのが第一声。はっきり言って画像品質はパソコンのそれとは雲泥の差がある。動きの速い場面では多少ブロック状のノイズが現れるが、これは同じ作品のDVDを再生しても同じことが起こる。早送りと巻き戻し、一時停止なども問題ない。反

応するまで一瞬の間はあるが、これもDVDでも同じだ。もちろんモザイク状のノイズも含め、改善されればそれに越したことはない。その一方で、DVDの映像が妥協できない人にはおすすりできないとも言える。

視聴は思っていたよりも快適だった。筆者宅はCATVを引いているので多チャンネル放送にはそれほど魅力を感じなかったが、VODは楽しすぎる。1つを見終ると次も手を出したくなってしまうのが難点と言えば難点か。

auの携帯電話でコンテンツをプレビューし、購入することも可能だ。本視聴はできないが、帰りに電車の中でコンテンツを購入し、帰宅してすぐに視聴するという楽しみ方もある。

## 第4世代のテレビになるか? 4th MEDIA サービスがスタート

オンラインティーヴィとぶららネットワークスが、2004年7月8日より開始した多チャンネル放送およびVODサービスが「4th MEDIA サービス」だ(図2)。NTT東日本

のIPv6サービス「FLET'S.Net」を利用する。このため、当面サービス提供はNTT東日本エリアに限られることになる。

ユーザーは、「4th MEDIA プロジェクト」に参画するプロバイダーを通してサービスを利用する。サービス開始時には、ぶららネットワークス、@nifty、BIGLOBE、hi-ho、So-netが参画を表明。今後、ほかのプロバイダーが参加する可能性もある。

提供サービスは、ベーシックTVサービス30局とプレミアムTVサービス10局の多チャンネル放送、VODサービス、カラオケサービスなど。また、他社のサービス

## 画面」「セットトップボックス」「リモコン」

### 4th MEDIA プロジェクト



### NTT Com CoDen 光サービス



との差別化として、イタリア・セリエAの日本国内におけるSTB向けの独占的配信権を3年半にわたって取得し、毎節4試合以上の試合録画中継を行う。VODサービスは、ハリウッドメジャースタジオ3社のほかアスミック・エース エンタテインメントやギャガ・コミュニケーションズ、日本ヘラルド映画、角川映画など、主要な映画作品が揃う。パンダイチャンネルなど、アニメにも期待できそうだ。また、新作ビデオなどの人気作品は、アクセス集中対策として、あらかじめ決定された開始時刻より24時間繰り返し放送する「ループ」方式での配信を行う。アクセス集中が解消された

段階でVOD配信へ移行する。

### まずは契約マンション向けに限定 NTT Com CoDen 光サービス

2004年7月1日にサービスを開始したNTTコミュニケーションズの「NTT Com CoDen 光サービス」には、マンション向けに提供される高速インターネット接続、IP電話、映像配信のサービスがあり、VODは映像配信の1サービスとして位置付けられている。KDDI光プラスと同様に、まずはマンションの管理組合やオーナーに向けて全国エリアで導入を進めている。

今後は、Bフレッツユーザーなどへの展開も視野に入れている。

映像配信サービスはCoDen光サービスのオプションの扱いとなり、別途月額利用料が必要。STBは貸与され、月額利用料の中に含まれる。VODのコンテンツはハリウッドメジャースタジオの作品を含めた2000タイトルが揃う予定。おもしろいのは、200タイトル見放題のサービスだろう。その月の200タイトルにラインナップされた作品は、追加料金を取られることなく何度でも視聴できる。対象外のコンテンツは作品によって105円から420円(税込)で2泊3日の視聴が可能だ。

表2 VODを提供している主なブロードバンドテレビサービス(2004年7月10日現在)(金額はすべて税込)

サービス名	BBTV	KDDI光プラスTV	NTT Com CoDen 光サービス	4th MEDIA プロジェクト <sup>[1]</sup>
URL	http://www.bbvtv.com/	http://bb.kddi.jp/fthservice/about/tv.html	http://coden.ntt.com/	表3を参照
サービス開始	2003年3月12日	2003年12月12日	2004年7月1日	2004年7月8日
サービス提供地域	東京23区と多摩地区、神奈川、千葉、埼玉(一部局舎を除く)	全国主要都市の一部	全国	NTT東日本エリア
対象ユーザー(契約条件)	Yahoo! BBユーザー	KDDI光プラスTVユーザー	CoDen光サービスユーザー	4thMEDIAプロジェクト 参画プロバイダーのユーザー <sup>[1]</sup>
回線設備	ADSL(Yahoo! BB)	FTTH(KDDI光プラス)	FTTH(CoDen光サービス)	フレッツ・ADSL、Bフレッツ <sup>[2]</sup>
ブロードバンドテレビ初期契約料	10,290円	3,150円 <sup>[3]</sup>	5,250円	5,229円 <sup>[4]</sup>
STB	レンタル <sup>[5]</sup>	レンタル <sup>[5]</sup>	レンタル <sup>[5]</sup>	買取(26,250円~) <sup>[6]</sup>
ブロードバンドテレビ月額基本料 <sup>[7]</sup>	2,625円 <sup>[8]</sup>	2,520円相当 <sup>[9]</sup>	2,520円	「ライトプラン」: 577円 「レギュラープラン」: 2,415円 <sup>[10]</sup>
VODレンタル利用料	150円~590円	105円~525円	105円~420円	210円~420円
映画	新作360円~、旧作290円~ 2750本 <sup>[11]</sup>	新作420円~、旧作315円~ 2000本強	新作、旧作ともに420円	新作420円、旧作315円
コンテンツ数			200本	1000本以上
対応コンテンツのジャンル	映画、アニメ、キッズ、趣味実用・スポーツ	映画、アニメ、趣味・教養	映画、アニメ	映画、アニメ、スポーツ
ハリウッドメジャースタジオとの提携	ユニバーサル・ピクチャーズ MGM パラマウント・ピクチャーズ ワーナー・ブラザーズ ソニー・ピクチャーズ エンタテインメント	x x x x		x x x
提携	20世紀フォックス	x	x	x
: 今秋提携予定	ドリームワークス	x	x	x
x: 交渉中または提携なし	ディズニ(ブエナ ビスタ)	x	x	
貸し出し期間	24時間	1泊2日~2泊3日	2泊3日	24時間 <sup>[12]</sup>
VOD画質モード	約2Mbps(MPEG-2)	約4Mbps(MPEG-2)	約3.5Mbps(MPEG-2)	高画質モード約4.2Mbps、標準画質モード約2.5Mbps(ともにMPEG-2)
サービストップ画面の形式	HTML	HTML	Flash	HTML
VOD以外のサービス	多チャンネル放送	多チャンネル放送、カラオケ 他	カラオケ、ゲーム、ニュース、占い、お天気地図情報 他	多チャンネル放送、カラオケ(9月開始予定) 他
その他キャンペーン情報など	8月31日までキャンペーン実施中 (1) 月額基本料金が年内無料 (2) 加入契約料金が無料 (3) 電子レンタルビデオが2週間見放題	2004年9月30日まで初期費用無料キャンペーンを実施中	なし	2004年9月料金分まで月額基本料金が無料のキャンペーン実施中。セリエA STB向け録画中継映像を独占配信

[1] 参画メンバーは表3を参照 [2] P v6に対応したFLET'S.Netの付加契約が必要 [3] KDDI光プラスネット未加入者は初期費用17,850円が必要 [4] プロバイダーおよびNTT東日本の初期費用は別途。FLET'S Net 契約料315円が必要 [5] 月額基本料を含む [6] プロバイダーごとにキャンペーン実施中 [7] これ以外に回線利用料などが必要 [8] 多チャンネル放送「ベーシックチャンネル(22チャンネル)」を含む。BBTVプロモチャンネルおよびショップチャンネルは無料 [9] 回線利用料とセットで提供。「KDDI光プラス電話とTVのセット」: 5,124円、「KDDI光プラスネットとTVのセット」: 6,615円、「KDDI光プラスネット、電話、TVのセット」: 7,297円。多チャンネル放送25チャンネルとVOD3本を含む [10] レギュラープランは多チャンネル放送も視聴可能 [11] 8月1日には約3200本を予定 [12] 別外あり

表3 4th MEDIA プロジェクトに参画を表明しているプロバイダー(2004年7月10日現在)

プロバイダー名	@nifty	BIGLOBE	hi-ho	So-net	ぷららネットワークス
サービス名	@niftyTV on 4th MEDIA	BIGLOBE.TV on 4th MEDIA	hi-ho.TV on 4th MEDIA	-	Plala.TV on 4th MEDIA
URL	http://www.nifty.com/tv/	http://bbtv.biglobe.ne.jp/4md/	http://home.hi-ho.ne.jp/4th/	-	http://plala.tv/4media/
サービス開始時期	2004年7月22日	2004年7月8日	2004年7月8日	準備が整い次第	2004年7月8日
サービス提供の回線設備	Bフレッツ	フレッツ・ADSL、Bフレッツ	フレッツ・ADSL、Bフレッツ	-	フレッツ・ADSL、Bフレッツ
STB買取金額(キャンペーン内容)	26,250円(税込/通常価格)	8月末まで半額 13,125円(税込)	Bフレッツ対応コースに限り、 先着100名無料(モニター)	-	限定1万台 15,750円(税込)



本当にレンタルビデオ店より便利?

## VODサービスの普及の鍵は何か

### コンテンツ数はまだ少ない

VODサービスを含めたブロードバンドテレビサービスは、ようやく本格サービスに移行したばかりだ(表2、3)。試験サービスを実施しながら、まだ本サービスに移行していない事業者もいることを考えれば、市場が活気づくことで、今後新たにこの分野に参入する企業が出てくる可能性は高い。しかし今後の市場の拡大は、サービス事業者だけでなくユーザー側の姿勢も関係する。つまり魅力的なコンテンツがなければユーザーも増えないし、ユーザーが増えなければコンテンツホルダーが魅力のあるコンテンツを揃えることもないからだ。そういった意味で、コンテンツの質・量ともまだ充実していない。ここで問題になるのは、サービス事業者が考える魅力的なコンテンツと、ユーザーが求める魅力的なコンテンツの違いではないだろうか。

たとえば価格。現在のVODサービスの

コンテンツ利用料は、レンタルビデオ店の価格構成を参考にしている。確かに1作品のレンタル料だけならば、両者はほぼ同じような金額だ。しかしブロードバンドテレビサービスは、このほかに月額利用料金「数千円」を必要とする。レンタルビデオ店がビデオのレンタル料以外に求めるのは年会費だが、それはせいぜい500円程度。VODサービス以外にも多彩なサービスがセットで提供されているので、決して高すぎる価格ではないが、初期費用が必要になることも考えると加入するにはやや慎重になってしまう。

### 「使いたくなる」ブロードバンドテレビサービスが欲しい

また、配信可能時期の問題もある。映画の配給会社は映画館での配給を最初に行い、その半年後にDVDセルやDVDレンタルを行う。衛星放送や地上波テレビ放

送はそのさらに3か月から半年後で、現在のVODサービスでも、レンタルビデオ店よりも3か月は遅い配信になってしまう。

しかしこの点は、WOWOWが一部のコンテンツ放送をDVDセルに先駆けて行うように、ユーザーの需要拡大と実績を積むことによって解決できる可能性がある。コンテンツホルダーが「VODサービスはビジネスになる」と判断すれば、配信時期が早まったり、コンテンツを個人が録画して楽しめるようになるなど、現在ユーザー側が物足りないと感じる問題がクリアになる可能性が高い。

「わざわざレンタルショップまで出向く必要がない」「いつでも好きな時に見られる」「貸し出し中で借りられないことがない」というVODサービスは、非常に魅力があることは確かだ。だからこそサービス事業者やコンテンツホルダーには、生き残っていくためのブロードバンドテレビサービスならではのサービス展開を期待したい。

### ホームサーバー「ガリレオ」を使った NTTソルマーレのVODサービス「ネットdeビデオ」

2004年3月からNTTソルマーレが開始したVODサービス「ネットdeビデオ」のSTBの役割を担うのは、シャープのホームサーバー「ガリレオ」。このサービスの特徴は、映像をストリーミング方式ではなくダウンロード方式で送ることだ。ダウンロードしたコンテンツは、ガリレオ本体のハードディスクにいったん蓄積してから再生する。このためストリーミング方式と比べて回線速度や回線利用率による影響を受けにくく、安定した画像品質でのサービスが提供できる。

コンテンツの視聴期間中はガリレオ内に

データが蓄積され、何度でも視聴できる。視聴期限が過ぎると、コンテンツは自動的に消去される仕組みだ。本来、ガリレオはホームサーバーなので、パソコンで録画したテレビ番組などを保存しておき、家庭内の別のパソコンからアクセスしたり、モバイルアクセスして観賞したりするもの。しかし、現在のVODは、著作権の関係上そのような楽しみ方はできない。この先VODサービス市場が拡大していくうえで発展を期待したい部分でもある。なお「ネットdeビデオ」は、NTT西日本エリアでのみ提供中。



NTTソルマーレのメニュー画面とシャープの「ガリレオ」  
<http://cinema.foobio.jp/cgi-bin/WebObjects/CinemaFoobio.woa/wa/default>



## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)